

中高一貫教育導入検討部会・新しい時代に対応した定時制・通信制教育の在り方検討部会の設置について

1 中高一貫教育導入検討部会の設置について

中高一貫教育制度は、1999年度に国において制度が創設されて以来、全国では既に41都道府県の公立高等学校において導入され、生徒の自主性や個性を伸ばし、社会性や人間性を育成するための特色ある教育が各地で進められている。

また、2022年度から高校で実施される学習指導要領のねらいなどにも示されているとおり、これからの教育には、生徒の探究心に応える「深い学び」を通して、一人一人の個性や能力を引き出し、最大限に伸ばしていくことが求められている。

そこで、本県においても、中高一貫教育制度を導入する可能性について検討する必要があることから、県立高校への中高一貫教育制度の導入について、具体的な内容を検討する「中高一貫教育導入検討部会」を設置したい。

2 新しい時代に対応した定時制・通信制教育の在り方検討部会の設置について

定時制・通信制課程は、中学校の学び直しなど、様々な学習ニーズをもつ生徒の学びの場となっている。

そこで、働きながら学ぶことを前提とした考え方から転換を図り、一人一人の生徒に対するよりきめ細かな指導や支援を重視していく必要があることから、定時制・通信制教育の今後の在り方について抜本的に検討する「新しい時代に対応した定時制・通信制教育の在り方検討部会」を設置したい。